



公開講座の実施

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 福島県立医科大学看護学部 公開日: 2010-05-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 黒田, 真理子 メールアドレス: 所属:
URL	https://fmu.repo.nii.ac.jp/records/2000500

学 術 活 動

公開講座委員会

公 開 講 座 の 実 施

公開講座委員長 黒田真理子

平成20年度の公開講座は、10月11日(土)、11月8日(土)の2回開催されました。今年度は内容を一新し、第1回「ふくしまの安心医療をめざしてーともに考えませんか」、第2回「看護のスペシャリストって?ー看護ケアの向上をめざした専門看護師活動」というテーマで、シンポジウム形式の公開講座を実施しました。

第1回目は、福島県保健福祉部医療看護課の菅野敏副課長兼主任主査から「福島県医療相談センターの運営、福島県の医療提供体制の現状」について説明があり、福島赤十字病院地域医療連携室の伊藤和子保健師から「上手な医療機関のかかり方」として、かかりつけ医と専門医の話があり、本大学医学部地域・家庭医療部の葛西龍樹教授から「あなたと家族に家庭医がいたら」として、家庭医療の話がありました。その後、参加者から質問や意見をアンケート用紙に記入をしてもらい、シンポジストからの回答などを含む全体討議が、本学部ケアシステム開発部門の竹谷美穂教授と生態看護学部門の菅野久美助教の司会により、「地域に偏在する医師問題」、「家庭医と保健師・訪問看護師の協働」などについて活発に行われました。

第2回目は、本学部応用看護学部門の真壁玲子教授から「専門看護師を育成する立場から」として専門看護師(Certified Nurse Specialist)に関する詳しい話があり、同部門の三浦浅子講師(がん看護専門看護師)から「がん看護専門看護師の活動」、同部門の加藤郁子助教(精神

看護専門看護師候補生)から「精神看護専門看護師の活動ー総合病院でのリエゾン活動を中心に」、同部門の古橋知子講師(小児看護専門看護師)から「小児看護専門看護師の活動、専門看護師の活動の特徴」などが紹介されました。その後、私の司会にて全体討議がなされ、「専門看護師の育成のためには経済面での支援も大切」、「専門看護師とジェネラリスト、両方の育成が大切」ということなどいろいろな意見交換がなされました。

今年度の参加者は第1回45名、第2回57名であり、第1回は、5、60代を中心として一般の方が多く、「家庭医も看護師もできるだけ早く養成してほしい」、「行政、医療従事者、教育分野の方のお話を聞くことができよかった」、「講師それぞれの時間が少なすぎる」などのご意見がありました。公開講座委員会ではこのテーマを継続していき、来年度は看護に焦点を当てた内容の公開講座の計画をしています。また、第2回は、20代から50代までの主に看護師の方が多く、「専門看護師の必要性がわかった」、「専門看護師の数が増えていけばいいと思った」などのご意見がありました。

本学部の公開講座は、県民の皆様に本学部の教員の研究成果を還元していくという目的にそって実施されています。この趣旨を理解していただき、来年度以降のアイデアを公開講座委員までお寄せいただければ幸いです。